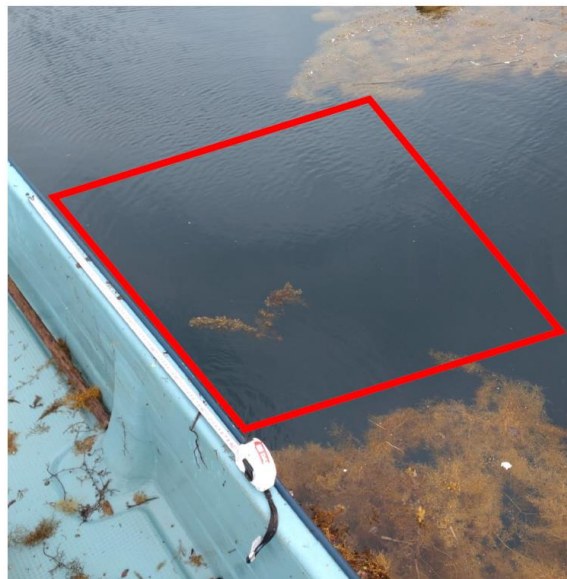


マメタワラ重量測定方法

愛媛県 愛南町 家串地区 筏マメタワラ1m²あたりの重量測定



マメタワラ採取前



マメタワラ採取後
赤四角部分が約1m²

愛媛県 愛南町 家串地区 筏マメタワラ1m²あたりの重量測定



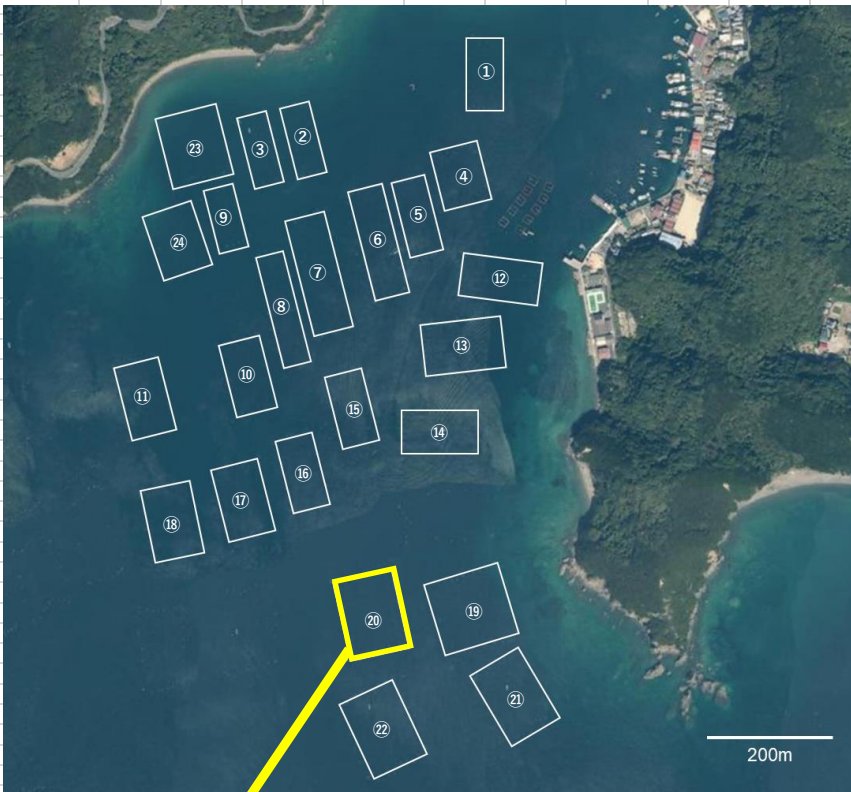
筏のマメタワラ1m²分採取



$$(8\text{kg} + 11\text{kg}) - 1.5\text{kg} \times 2 = 16\text{kg/筏m}^2$$

マメタワラ重量測定補足資料

1. 重量測定筏場所：20 番筏

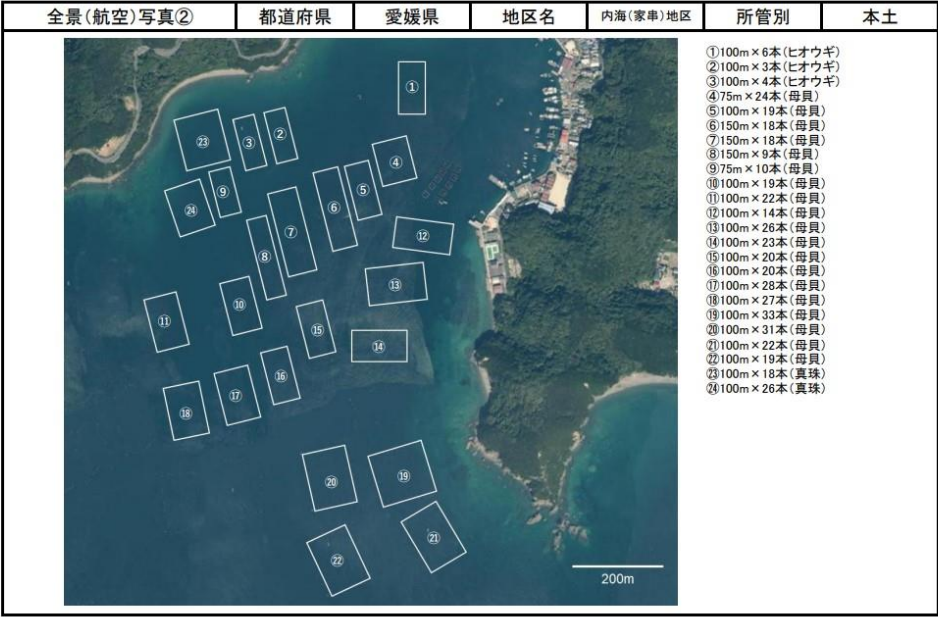
全景(航空)写真②	都道府県	愛媛県	地区名	内海(家串)地区	所管別	本土
					①100m×6本(ヒオウギ)	
					②100m×3本(ヒオウギ)	
					③100m×4本(ヒオウギ)	
					④75m×24本(母貝)	
					⑤100m×19本(母貝)	
					⑥150m×18本(母貝)	
					⑦150m×18本(母貝)	
					⑧150m×9本(母貝)	
					⑨75m×10本(母貝)	
					⑩100m×19本(母貝)	
					⑪100m×22本(母貝)	
					⑫100m×14本(母貝)	
					⑬100m×26本(母貝)	
					⑭100m×23本(母貝)	
					⑮100m×20本(母貝)	
					⑯100m×20本(母貝)	
					⑰100m×28本(母貝)	
					⑱100m×27本(母貝)	
					⑲100m×33本(母貝)	
					⑳100m×31本(母貝)	
					㉑100m×22本(母貝)	
					㉒100m×19本(母貝)	
					㉓100m×18本(真珠)	
					㉔100m×26本(真珠)	



家串湾の筏ごとのマメタワラ面積

家串湾

筏No.	マメタワラ面積(m ²)
1	604.98
2	570.26
3	878.41
4	539.32
5	172.94
6	1,836.99
7	590.22
8	523.17
9	172.93
10	239.42
11	687.36
12	1,666.05
13	846.11
14	818.08
15	246.89
16	397.16
17	1,149.42
18	298.47
19	1,189.44
20	613.03
21	1,266.06
22	440.10
23	1,116.17
24	686.46
合計	17,549.41



○重量測定結果の代表性について

- ・今回申請対象である幹縄筏のマメタワラは、ブイによって水面に浮いた構造をしており、概ね常に 50 cm以浅に設置されている（図 1）。筏に付いたマメタワラは気泡を形成しながら水面に這うように成長する一方、水面下には光条件が悪くなるため、茎部分は細く、葉の形成も少ない。愛南町家串地先の幹縄筏上のマメタワラの生産構造を調査した結果を見ると、50 cm以下の藻体部分の重量は全体から見るとごく少ないと思われる（図 3）。仮に筏が沈んでいる部分は図 2 のようになっていると考えられるが、その場合は水面に見える部分の面積は小さく、表面積で算出した場合、実際の重量より大きくなるとは考えにくく、水面に見られるマメタワラの表面積での計算方式が妥当と考えられる。



図 1：幹縄筏のマメタワラ



図 2：沈んだ幹縄筏のマメタワラ

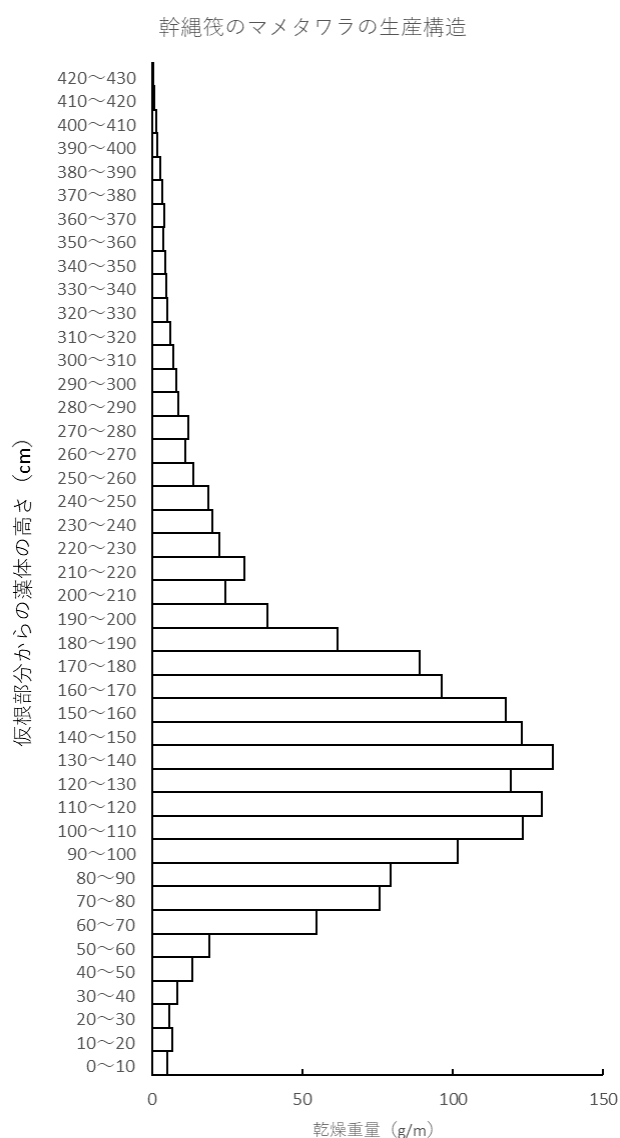


図 3：幹縄筏のマメタワラの
生産構造
(愛南町水産課作成)